

「シャロンの花」同窓会報 第27号

2024年3月1日発行



＜2024年度総会・懇親会のお知らせ＞

日時5月18日(土) 総会 午後2時～(受付1時30分～)

懇親会午後3時～(受付2時30分～)

場所 三井ガーデンホテル千葉

千葉市中央区中央1丁目11-1

TEL043-224-1131

会費 7,000円(当日受付にてお支払いください。)

懇親会だけの出席も大歓迎です。恩師の先生方も多数ご出席いただいております。本年は昭和58年卒第35回生の皆さんが幹事団を組んで取り組みますが、卒業生はどなたでも参加できますので、お誘い合わせの上ご来場ください。お問合せ・お申込みは、4月30日まで

に同窓会事務局TEL 043-226-7008

kbepu@ba.wakwak.com

LINEビジネスアカウント@143wzqst

LINEビジネスアカウントQRコード

QRコードから「友だち追加」→



(三井ガーデンホテル千葉)



発行者 千葉県立千葉東高等学校同窓会 会長 山中 操

編集部 千葉県立千葉東高等学校同窓会 事務所 千葉市稲毛区轟町1-18-52

令和5年度 同窓会総会の開催



＜総会＞

令和5年5月20日に三井ガーデンホテル千葉にて総会・懇親会が行われました。今回は役員、学校関係者のみでの開催となりました。

内容につきましては、

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 名誉会長挨拶
4. 本年度転退職・新任の先生及び新年度幹事紹介
5. 出席教職員(卒業生の本校職員を含む)の紹介、
6. 議題
 - (1) 第1号議案 令和4年度事業報告
 - (2) 第2号議案 令和4年度決算報告・監査報告
 - (3) 第3号議案 令和5年度事業計画(案)
 - (4) 第4号議案 令和5年度事業予算(案)
7. 閉会の辞

＜令和4年度事業報告＞

1. 令和4年度の総会・懇親会。
2. 同窓会報「シャロンの花」第26号発行。
3. 「シャロンの花奨学金」の贈呈。
4. 部活動支援金の贈呈。

＜令和5年度事業計画＞

1. 総会 令和5年5月20日(土)
三井ガーデンホテル千葉
2. 同窓会報発行・令和6年3月1日
「シャロンの花」第27号発行
3. 同窓会・恩師対外発表会等参加支援・顕彰活動
4. 同窓会維持基金、創立100周年祈念90周年記念 事業基金等募金活動
5. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
 - (1) 部活動(関東大会以上出場等)支援
 - (2) 対外 発表会等参観・支援
 - (3) 進路学習支援
 - (4) 海外研修引率者支援
 - (5) 卒業式、入学式、体育祭、東雲祭等行事参列・参観等
 - (6) 「シャロンの花奨学金」
 - (7) その他母校支援に該当する案件
6. 支部発足支援活動
7. その他目的達成に必要な事業
8. 常任理事会(原則隔月第三土曜日開催)
昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業計画案・予算案が審議されいずれも承認されました。

(2022/04/01～2023/03/31)

令和4年度 同窓会本会計

<役員一覧>

令和4年度千葉東高等学校同窓会決算書		
損益計算書		
	科目	金額
収入	令和4年度卒業生入会金(320名)	1,101,950
	令和4年度同窓会維持基金	925,985
	令和4年度同窓会周年基金	920,000
収入合計		2,947,935
支出	会議費	15,960
	通信費	0
	総会費	58,080
	外注工賃(シャロンの花第26号)	96,297
	シャロンの花 郵送費(冊サルト)	798,713
	通信08会支援金	30,000
	奨学金	210,000
	学校支援金	130,000
	花籠代(音楽部花籠代)	15,000
	卒業証書入	91,350
	懇親会運営費	0
	同窓生支援金	10,000
	花束代	10,000
	エアコン修理代	55,660
	支出合計	1,521,060
収支合計		1,426,875
その他収入	受取利息(預金1)	58
	受取利息(預金2)	18
	受取利息(預金3)	24
	受取利息(預金4)	7
	その他収入 合計	107
剰余金		1,426,982

資産管理表		
資産の部		
科目	期首(2022/04/01)	期末(2023/03/31)
現金	1,328	5,368
預金1(本会計)	7,758,133	8,261,026
預金2(周年事業基金)	2,094,958	3,014,976
預金3(基金繰入金会計)	2,149,217	2,149,241
預金4(懇親会)	804,117	804,124
合計	12,807,753	14,234,735
期末-期首		1,426,982

名誉会長	高梨 祐介	学校長
役職	氏名	卒業年
会長	山中 操	昭和44年
副会長	中村 千枝子	昭和44年
	澤田 繁信	昭和46年
	小川 輝男	昭和50年
書記	小塚 興作	昭和34年
	市原 俊介	平成5年
会計	林 一己	昭和41年
	別府 健治	昭和50年
会計監査	小林 丈士	昭和47年
	石橋 康郎	昭和52年
事務局長	鈴木 英一	昭和46年
	戸塚 主税	昭和36年
	時田 拓央	昭和38年
	斉藤 武	昭和39年
	山田 和雄	昭和46年
	渡邊 茂通	昭和47年
	高橋 清英	昭和50年
	上市 善章	昭和54年
	桃木 みず江	昭和51年
	望月 あけみ	昭和51年
	大木 正人	昭和51年
	大木 実	昭和53年
常任理事	後藤 孝徳	平成2年
	原 慈妙子	平成22年
名誉顧問	永江 栄	昭和21年
	井戸川 浩	昭和34年

令和5年度懇親会

今年の懇親会も学校関係者と常任理事のみの開催となりました。昭和54年卒から昭和58年卒に櫛の引き継が行われました。

来年度は過去のように昭和58年卒を中心に6

0才になる卒業生と一緒に懇親会ができる予定です。人数的には150名程度の参加が予定されています。例年の規模の懇親会が開催できることを期待しています。(同窓会事務局)



同窓会会長 山中 操



1月1日に発生した能登半島地震により亡くなられた皆様に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

本年2024年は、60年に一度の甲辰（きのえたつ）の年で、

「甲」は草木の生長を表し、植物が成長するよう勢いを増して増えていくという意味があり、吉祥を表す辰（龍）とともに縁起が良く、昨年まで努力してきたことが実を結ぶ年とも言われています。本年が皆様にとって素晴らしい飛躍の年となる

ようお祈りいたします。

さて、千葉東高同窓会は高梨名誉会長と連携をとりながら、「千葉東高魂」と呼ばれる精神を引き継ぎ活動しております。

県立高校で初めての奨学金制度「シャロンの花奨学金」を2019年に創設するなど、毎年生徒の教育支援を行っております。

千葉県教育委員会指定進学指導重点校として、文武両道はもちろんのこと、これからは世界を見据えて多くの場所での活躍を心からお祈り申し上げます、ご挨拶いたします。

（昭和44年卒 同窓会会長 山中操）

同窓会名誉会長 高梨 祐介（学校長）



千葉東高等学校同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本校の教育活動ですが、ここ数年は感染症の影響を大きく受け、学校行事等は縮小・中止もありましたが、今年度は感染症流行前の状況に戻って行っています。今年度の活動を振り返ってみます。

①7月に実施した東雲祭（文化祭）では、4年ぶりに人数制限を設けず一般公開を行いました。1日目はあいにくの雨でしたが、2日目は晴天に恵まれ、2日間を通して6,000人以上の方々にご来場いただきました。生徒は協力して取り組み、3年生の演劇（ミュージカル）をはじめとして、素晴らしい発表を披露してくれました。

②進学指導重点校として、教職員が一丸となり、日々の授業を大切にして、生徒の進路希望を実現させるために全力を尽くしています。また、今年度の1年生から生徒一人ひとりがパソコンを購入しており、ICT機器を効果的に活用ながら授業を行っております。

③部活動については、今年度の部活動加入率は

103%となっています。生徒は学習との両立を図りつつ日々の練習に励んでいます。運動部では、山岳部女子が全国高等学校総合体育大会登山競技に出場し準優勝を収めました。文化部では、全国高等学校総合文化祭に千葉県代表として、化学部、マンドリン楽部が出場しました。関東大会へは、水泳部女子、陸上部（関東陸上選手権）、囲碁同好会が出場しました。また、多くの部活動が県大会で上位入賞しています。

④国際理解教育は、感染症の影響で国内の語学施設等での研修を行ってきましたが、今年度は米国・豪州高校交換プログラムを再開し、現在、3月に海外研修を実施するための準備を進めております。

紙面の都合で教育活動のすべては書ききれませんが、本校ホームページで学校の様子を随時発信しておりますので、ぜひ後輩たちの活動をご覧いただければと思います。

同窓会の皆様からは、部活動をはじめ「シャロンの花の奨学金」など、本校の教育活動全般にさまざまな御支援を頂いております。重ねて感謝申し上げます。ありがとうございます。

今後とも「生徒の夢をかたちに」を合言葉に、教職員一同全力で取り組んでいきますので、引き続きの応援をお願い申し上げます。あわせて、同窓会のますますの御発展を御祈念申し上げます。

（同窓会名誉会長 高梨 祐介）

縁（えにし）が紡いだ歌声（音楽部）

音楽部の定演は3月28日。新型コロナがある程度収束に向かう中、チケット制として範囲が制限される中で私は4年振りに行くことができた。今回のテーマは「縁」（えにし）。男子部員の比率が低くバランスが苦しい中、第一部は無伴奏を含めた合唱アンサンブルで、ほぼ全てを無伴奏で埋め尽くした以前の東高音楽部のイメージが薄れたのが残念なところだが致し方ないか。第二部はミュージカル「赤毛のアン」で、孤児院から引き取られた少女アンが友人らとの出会いを通して自分が紡いできた縁を感じ、その縁を大切に作る人生を選ぶ、という物語を人との縁や故郷への思いを描く合唱で彩っていった。そして第三部は「縁」

と題して家族の幸せ、不安感や期待感を綴り、最後は長らく封印していたOB OG合唱が復活。

この歌えなかった、活躍できなかった時間は、彼らには一生一度の機会で、非常に長く重かっただろう。練習時間も厳しい制約されただろう。だが歌への情熱を絶やさず、コロナが若干収束したこの時に満を持してステージを作ることができた。まだマスクを外せず、まだ自由を取り戻せずにはいたが、まずはここで貴重な一步を踏み出し、その機会にしっかり花開いた。その紡いだ縁による歌声は我々観客の心を動かし、彼らにも一生忘れられないものを残したのではないかな。

（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）

フィリアの幸せ（吹奏楽部）

吹奏楽部定演は5月4日、新たな指導者を迎え、マスクのない素顔を見せてくれた。

第1部は「旅の始まり」を感じさせるクラシカルな4曲で、和のテイストから夢への地図、飛行機から見下ろした情景、世界一周飛行で消息を絶った女性パイロットへの思いと続く。第2部はミュージカル「リメンバー・ミー」で、これまでの一年部員や野球部員の主体とは違って二年三年部員が主要な役を演じ、「すぐそばにあって目には見えない大切なもの」を探す旅の物語を部員一丸の特別アレンジで作り上げた。第3部はビッグバンドを皮切りに、全員スタンドプレイで動きを見せながら耳だけでなく目からも楽しませた。

今回のキーワードは、部長挨拶に出た「フィリア」（友愛）だろうか。言わば吹奏楽部は我が家、仲間は家族で、ここにいるのが楽しく幸せで、条件抜きでそれを愛することの大切さが分かったと

いう。そのフィリアがあってこそこの定演や思い出ができ、たとえ叶わぬ夢や心残りがあっても、この仲間と歩んだ日々は何にも代え難いと。

このフィリアの幸せ、私も心残が多いながら、確かにここで噛み締めた。それを彼らは、その晴れやかなステージを通して気付かせてくれた。

（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）



マスク越しのアイコンタクト（マンドリン楽部）

マンドリン楽部の定演は5月6日、新型コロナの5類移行には至らず、マスクを着けての出演。

第1部は荘厳なマンドリンオーケストラ曲で、様々なソロ演奏でその楽器の魅力を引き立てる場面が随所にあった。

第2部はギターアンサンブルで、時に軽快にリズムカルに、時にしっとり。

第3部は一年生の劇「不思議の国のアリス」を交え、嫌なつらい日常があって逃げ出したくなくても自分の心が根差すべき現実根付き、自分がそれを愛することに気付く物語を綴った。

第4部は伝承曲「ひき潮」やその他ポップスや

ロックにラグビー部のコントを織り交ぜ華々しく花咲かせ、特に上体を激しく動かしながら演奏する姿が印象的。

私がこのステージを観たのは4年振り。その間には自由に観客を入れられず、思うように練習ができず、中にはその機会そのものを奪われ、悔し涙があったという。その先輩たちも含め、マスク越しにアイコンタクトを交わし、この自由になりつつある定演に関わり作り上げた。その一致団結で生まれた定演を、私は見たのだった。

（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）

納得のいく東雲祭ついに実現！（2023年度東雲祭参観報告）

7月1日（土）と2日（日）の2日間、東雲祭が満を持して無制限の一般公開が復活して開催され、私は2日とも参観した。「納得のいく東雲祭実現は2日目終了までわからない！」がテーマで、4年前と同じく自由に来場者を受け入れ、大半の生徒はマスクを外して素顔を見せ、3年生ミュージカルも定員が20名から60名へ緩和された。

私が観たのは、3年生ミュージカルではサウンドオブミュージック、美女と野獣、アナと雪の女王、リトルマーメイド。また音楽部と吹奏楽部のミニコンサート、ESS部の英語クイズ、化学部の研究展示や書道部の作品展示も。

とにかくみんなこの時を待っていた。ただ現在の東高生達がこの一生一度の機会に東雲祭を体験できたというだけでなく、来るべき観衆が何の制限もなく来てその発信の「受け手」として観てくれたということ。それで地域の住民が東高のイメージを再び認識し、下級生や未来の東高生（？）が自分の未来に憧れを抱き、私を含む過去の高校生

が思い出を走馬灯のように駆け巡らせる。しかもマスクを外して顔の表情をありありと見せ、互いの意思疎通の障壁もなく、学校生活への制約も大幅に緩和され、本来あるべき形で分かり合っただけでここまで過ごした。少し前の卒業生がこの光景を見たならば、本当に羨ましくて仕方ないだろう。

果たしてそのテーマ、納得のいく東雲祭は果たして実現できたのだろうか？私ははっきりイエスと言いたい。本当に幸せな2日間だった。

（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）



山岳部OB・OG会 令和5年度報告

◇年末山行

2022年12月に奥多摩の高尾山へ行きました。30代～70代のOB5名が参加し、まだ僅かに紅葉の残る奥多摩を楽しみました。



◇ふるさとハイイク

2023年3月に千葉県南房総市の大房岬を歩きました。30代～70代のOB6名に加え、現山岳部顧問の住吉先生にもお越しいただき、春の訪れを感じる陽気を満喫しました。

◇総会

2023年6月、千葉東高校セミナーハウスにて開催。

オンラインと併用し遠方からも数名参加し、昨年度決算及び今年度の事業、予算案を承認していただきました。

また、顧問の眞田先生より山岳部員の近況を共有いただきました。

◇インターハイ支援

2023年8月7日～11日に北海道大雪山系・十勝岳連峰で開催されました。

本校からは団体女子が出場し、見事準優勝という結果を収めました。

OBから川勝健太君（R5卒）、友成温大君（R5卒）が選手の下見に同行し読図、記録等の技術支援を実施しました。山岳部の大会審査項目は多岐にわたりますが、その中でも体力、歩行技術、読図の配点は高く、これらには事前の下見によるコース把握が欠かせません。

選手たちは普段から練習として重い荷物を背負っての階段上り下りや千葉公園での走り込み、夏休みの間もテント設営や炊事、気象予測の訓練を実施してきました。コロナ禍で十分な山行経験のない選手たちに対し、大会参加経験のあるOBが指導支援したことで素晴らしい結果に結びついたものと考えています。

最後となりますが、今後ともご支援を賜りますようお願い致します。

（H20卒
小澤就志）



マンドリン楽部

＜マンドリン楽部＞

マンドリンはイタリア発祥の弦楽器で、2本の弦を同時に押さえてピックを使ってトレモロやピッキングで演奏します。弦楽オーケストラと同様、マンドリン・マンドラテノール・マンドロンチェロという大きさの異なる楽器たちで編成し、クラシックギターやコントラバス、フルートなどを加えて合奏します。

本校マンドリン楽部は60年を超える長い歴史と伝統があり、軽音系の楽器を演奏するパートも合わせて毎日楽しく活動しています。主に春の定期演奏会と文化祭での発表を中心に活動しておりますが、昨年度、千葉県高等学校総合文化祭に出場したところ役員の方々に大絶賛され、今年度の全国高等学校総合文化祭に器楽・管弦楽部門での推薦をいただきました。

会が夏休みであることから、3年生が参加できなくなりましたが、新しく引き継いだ2年生15名が先輩たちのアドバイスの元、練習を重ねて当日の発表を迎えました。鹿児島県に入ってから、限られた時間の中での練習やリハーサルを行いました。一つ一つ丁寧に音作りをしていく姿、弾くほどに上手になっていく様子、さすがは東高生だなと実感しました。

本番のステージでは、全国の高校生たちが見守る中、立派に演奏を終えることができました。このメンバーでの初舞台とは思えないほどに堂々としており、楽しさも表現できたと思います。講評

でもお褒めの言葉をいただきました。この貴重な経験を生かし、今後の活動に励んでいきたいと思っています。

(永田 房代 教諭)



水泳部

＜水泳部＞

本校に現在プールはなく、水泳部として校内での活動は行っていません。各自の地元にあるスイミングクラブで練習を積んできた生徒が、夏に行われる高体連の大会に出場するために部員として登録しています。

今年度の部員は4名（2年男子1名、3年男子2名、3年女子1名）となっています。それぞれの目標に向かって日々練習に励んでいます。水泳は個人競技ではありますが、一緒に練習したり試合前に声を掛け合ったり応援しあったりするのを通して仲間の大切さを実感できました。今年度から声を出しての応援が可能になり試合の熱気が出て久しぶりの声援を受けて楽しんで泳ぐことができました。タイムが伸び悩む時も仲間がいたから

ここまで続けてこられました。出会えた仲間を大切にしていきたいです。また水泳は速く泳ぐためにはどうしたらいいか？辛い時どう乗り越えればいいのか？と、常に自分と向き合いながら成長できるスポーツです。友達、先輩や後輩、コーチや先生方、両親には感謝の気持ちでいっぱいです。3年女子はインターハイには届かなかったものの3年間関東大会に出場し続けました。（関東大会の出場基準は、県大会で各種目上位10位の決勝に進出し、決勝で8位以内に入ること。）

校内で活動することはありませんが、今後とも応援をよろしくお願いいたします。

(水泳部 部長 年岡 あかり)

化学部

化学部は、創立間もなくからの伝統ある部活動で、化学的な研究を継続的に取り組んできた。これまでも全国規模の科学コンテストで数々の素晴らしい結果を残しており、日本学生科学賞での入賞、JSEC科学技術チャレンジでは優秀賞を受賞し、全国総合文化祭でも千葉県代表として選出されて出場してきた。

今年度の2023かごしま総文は、鹿児島大学群元キャンパスで行われ、本校化学部の3年生が「二酸化炭素がアスコルビン酸の分解に与える影響」という研究で出場し、日ごろからの成果をしっかりと発表してきた。

通常の活動は、現在部員は4名で月・水・金・土曜日に活動している。現在1・2年生も多く先輩方に続くように身の回りにある事象から課題研究に取り組んでいる。「メタリン酸や水が緑茶の酸化に与える影響」・「界面活性剤の洗浄力に親水性部分が与える影響」「みんなが飲みたいスポーツドリンク

ク〜中和から見るスポーツドリンクの成分〜」というテーマで日々熱心に取り組んでる。



また、今年の文化祭ではサイエンスショーを企画した。1日2回のショーを行い各回とも大盛況で終了することができた。現在の

部員にはコロナ禍前の文化祭の経験がない中、いろいろ考えて多くの一般のお客様に楽しんでもらえるような化学現象を演示実験し、その原理を説明した。結果、「校長賞」に選んでいただけた。夏休みには千葉県館山市での生物部との合同合宿も数年ぶりに実施でき、ウミホタルの採集ができたので、今後のイベントなどのサイエンスショーで美しい青色発光をお見せできることが楽しみである。

(化学部顧問 上川圭子)

囲碁同好会

囲碁同好会は現在会員5名（2年生4名、1年生1名）で、同好会長の中野孝太郎を中心として活動しています。活動場所は地学講義室で、毎週火・木曜日が活動日です。他に部活動をやっている会員がほとんどで、活動時間は限られています。2年前会員0からスタートして、現在同好会長の中野が入部して同級生を集め4名で現在の形になりました。全員囲碁を高校に入学するまでにしたことがなくルールも知りませんでした。昨年度の顧問は囲碁が強く、技術指導もでき、また定期的に「段級位認定戦」という腕試しをする県大会があり、そこでよい結果を出すことができました。顧問の指導により、棋力はどんどん伸びてきました。

しかし1年生終了時、指導していた顧問の異動が決まり、「これからどうやって棋力を伸ばせばいいのか」と悩む時期もありました。そして今年度から新たな顧問になりました。新しい体制では会員の活動のサポートに重点を置いて活動を支援しています。2年生になってからは新たにできた後輩の指導と自分の棋力向上という2つのことを同時に行わなくてはなりませんが、碁に対する気持ちは非常に高くなりました。そして、囲碁のAIや囲碁のオンライン対局などで囲碁の研究を行い、碁会所に行って腕試しをし、更に棋力を伸ばして行きました。

2年生の秋、秋季県大会ありました。「0」からのスタートだった囲碁同好会ではありましたが、

1年半の努力が実を結び、大会において個人戦準優勝・団体戦優勝することができました。

それと同時に、今年の1月に開催される群馬県前橋市で行われる関東大会の出場が決まりました。この時、関東大会を多少軽く考えていたようです。というのも秋季県大会で個人戦は厳しい戦いではありましたが、団体戦では千葉県の全ての相手校を圧倒して全勝で優勝したため関東大会でも上位に入れると考えていたようです。しかし、結果は惨敗でありました。個人戦は16人中13位、団体戦では16校中12位でした。この大会を通して囲碁の世界の広さを知ったようです。この経験を活かして来年度の春季県大会を突破し、全国大会に出場できるよう目標が定まりました。また、新入会員を確保し後輩の指導にもより一層熱心に取り組み、囲碁の強豪校「千葉東」という地位を確立させたいです。そして今現在会員が少ないので来年度は会員数の確保にも積極的に取り組み、千葉東だけでなく高校囲碁界全体を盛り上げていくので、皆様の応援をよろしくお願いいたします。

(囲碁同好会顧問
藤浪 明博)



山岳部（女子）

山岳部は女子が8月7日から11日にかけて北海道の十勝岳山系と大雪山山系で行われた全国高校総体（インターハイ）に出場しました。結果は準優勝となり大きな成果をあげることができました。今回、その概要をご報告したいと思います。



全国総体の登山競技は、通常、3泊4日のテント泊を行いながらコース山域を選手4名で登ることで行われます。大会では知識、設営、装備、読図、歩行技術、体力などの登山に関する様々な知識や技術が審査されます。知識審査では登山の基礎知識・気象・救急法などに関するペーパーテストや、選手が書いた天気図の審査が行われ、設営審査ではテントの設営技術が審査され、装備も大会期間中に数回の検査を受けることになります。読図・歩行技術・体力は3日間の登山行動中に行われ、山中の各所に潜んでいる審査員により、歩行技術や体力面を審査され、その途中で審査員が設置した読図ポイントが地図上のどこにあたるのかを正確に示すことが求められます。

今年の北海道は天候が大変不順で、大会中も天

気は目まぐるしく変化しました。登山行動の1日目の十勝岳（2077m）コースでは、悪天が予想されるために、十勝岳の登頂は中止となり、短縮コースとなりましたが、女子隊は下山途中に大雨に遭い、全身ずぶ濡れとなりました。また雨によりテント場周辺が水没したため、この日は、急遽、近くの中学校の体育館に避難することになりました。2日目から3日目には日程時間の変更などもありましたが、天気が少しずつ回復し、大雪山山系の黒岳（1984m）・北鎮岳（2244m）コースと旭岳（2290.9m）コースは何とか全コースを歩き切ることができました。

北海道の2000m級の山々は本州の3000



m級の山々に匹敵する自然環境の厳しさを持っていますが、女子選手達はそうした状況によく耐えて今大会の山々を踏破しました。今回の全国大会に際し、多くの生徒・先生方や、保護者・同窓会の皆様には多くのご声援をいただきました。本当にありがとうございました。今後とも、さらなる高みを目指して頑張ります。

（山岳部顧問 眞田 武彦）

<ホームページのご案内>

（千葉東高校同窓会HP）



（ラグビー部OB会HP）



（千葉東高校HP）



陸上競技部（関東陸上競技選手権大会出場報告）

今年度、3年男11女8、2年男8女6、1年男12女4の49名で活動しています。陸上部は、学校のグラウンドに割り当てがないので、6限の日と、土日に総合スポーツセンターの陸上競技場を主な練習場所に使っています。

総合スポーツセンターは5時までの利用時間なので平日は1時間弱、休日は2時間の練習時間を集中して行い、県大会、関東大会、全国高校総体を目指し頑張っています。

陸上競技は個人競技なので、一人一人が目標をしっかりと持ち、自己記録の更新するために日々努力しています。練習はきつく苦しいことが多いとは思いますが、部員同士が刺激しあい苦しい場面から逃げることなく取り組んでいます。

今年度の県高校総体では、3年1組の久保埜敦己君が400mで7位、2年5組高橋日和梨さんが800mで8位入賞しました。全国高校総体の出場をかけて行われる南関東大会は6位まで出場なので、残念ながら進むことができませんでした。6月の千葉県選手権大会で久保埜君が400mで6位、高橋さんが800mで1位になり、8月18日（金）から20日（日）に神奈川県等の等々力陸上競技で行われる関東選手権大会に出場しました。

関東選手権大会は、千葉、神奈川、山梨、埼玉、群馬、栃木、茨城の7県の県選手権6位入賞者が出場し行われる大会で、一般、大学生、高校生、中学生すべての選手の関東チャンピオンを決めるレベルの高い試合です。

大会の結果は、久保埜君が予選5組1着＋1で行われた第2組で49秒06で6着、高橋さんが5組1着＋3で行われた第1組で2分17秒27で2着でした、2人とも決勝には進めませんでした。社会人、大学生と競うレースの中で自分の力を出し切ることができました。

久保埜くん大学に進学し競技も継続する予定なので、新たなステージで飛躍してくれると信じています。

高橋さんは2年なので、秋の新人大会、来春の総体とさらに自己記録を更新し、関東大会、全国大会を目指しくれると思います。

これからも、陸上部全員で競技力の向上を目指し頑張っていきますので応援よろしくお願いします。

（陸上部顧問
坪井）



グループ”漕”書展”展”展開催される

グループ”漕”書展が10月27日～11月1日までギャラリー古島（西千葉）にて開催されました。今回は葉書き書を全員が出品し、他に個々により、篆刻・刻字・漢字・かな・幹事仮名交り書等や、さらに、ガラスや板に蒔絵の手法で彩書した作品と、大作から小品と多岐にわたり展示しました。

作品についての筆者による意図や感想等と好評を得、多くの来場者を楽しませ、盛況裏に終了することができました。

（文責 会計 林 一巳）

白井 石井 中村
林（破） 湯浅 林（秀）



昭和50年卒看護科9組クラス会

2023年9月末の30日に船橋のホテルの一室で、昭和50年卒業の看護科のメンバー11名でクラス会を開催しました。

私達のクラスは、以前から定期的にクラス会をしており、毎回のクラス会後に次の幹事を順番に決めて、コロナ明けの2023年久しぶりに集まることが出来ました。

遠くは北海道から駆けつけてくれるメンバーも居ます。

親の介護や、定年後の再就職の事、夫との時間の過ごし方や、自身の病気の経験、現在夢中になっていることなど、それぞれの近況について～女性だからこそ、気心の知れたメンバーだからこそ話で盛り上がり、あっという間の3時間半となりました。

名残は尽きませんでしたが、2024年「卒後50周年」学年合同同窓会への出席をクラス会に替え

て皆さんに参集して頂く約束をして解散しました。みんな元気で！パワフルで！びっくりです。

(昭和50年卒看護科 近藤 千鶴子)



昭和54年卒同窓会

2023年10月14日三井ガーデンホテル千葉において千葉県立千葉東高等学校昭和54年卒業生同窓会が開催された。卒業後、定期的にクラス会を行っているクラスから、一度もクラス会を行っていないクラスまでありどの程度の人数が集まるか不安もあったが、日本の各地からだけでなく、海外オーストラリアからも参加頂き150名のメンバーが集まった。

会は、1,2年の時の担任である大澤先生(3組)、山泉先生(5組)、中村先生(7組)、鈴木先生(8組)、高澤先生(9組)のお話から始まった。卒業から44年という歳月を経ても先生方から溢れるさまざまな思い出話などで、我々の脳裏にもさまざまな思い出が巡り一気に当時の感覚に戻り、その後の話に華が咲いたものである。あっという間の時間であったが、濃い時間を過ごすことができたと思う。会の後、皆

千葉の街に散らばって行きクラス単位などで三次会で楽しい時間を過ごしたと聞いている。また皆で集まりたいという想いを強くした。

(昭和54年卒 砂原 秀樹)



バスケットボール部OB・OG会総会 令和5年度開催のご報告

昨年8月19日（土）、千葉スカイウインドウズ東天紅にて、バスケットボール部OB・OG会総会が開催されました。永年に渡り、バスケットボール部顧問としてご指導くださった佐藤昭勝先生をお招きして、総勢45人が集い、乾杯とともに、当時の懐かしい、時には苦しく、時にはよろこび、時には悔しさに涙した高校時代のバスケットボール部で過ごした日々の思い出を、時間が経つのも忘れて、語り合いました。81歳に成られた佐藤昭勝先生は、今もお元気に、ゴルフをされております。卒業以来、初めて再会した先輩方の様子は、何とも言えない、胸キュンとなるひと時でした。この感動を、できるだけ多くの元バスケットボール部の方々に、特に昭和54年以降に卒業された方々にも感じていただきたいと思います。

OB・OG会で集められた寄付金は、広瀬会長（昭和49年卒）、山岸事務局長（昭和52年卒）により、9月2日（日）、現役バスケットボール部に届けられました。コロナ禍、思うように練習ができなかった部員の皆さんにとって、きっと心強く感じて頂けた事と思います。

東高バスケットボール部OB・OG会に、僕も私もと手を上げたい方がいらっしゃいましたら、下記LINEグループのお友達追加をしていただき、卒業年と氏名をお知らせください。本年もOB・OG会総会は8月に開催予定です。昔過ごした同じ時間を、同じ仲間と共有することは、きっと心に彩りを添えることになると思います。

<バスケットボール部同窓会事務局>

山岸彰（S52年卒）

島本美左子（S53年卒

旧姓小川）



野球部OB会 令和5年度 報告

野球部OB会 令和5年度 報告

○新年会 1月28日(土) 18:00～ 於 京成ホテル・ミラマーレ元監督・高野連会長も務められた濱井先生、飯生監督、中島部長の出席をいただき、藤代会長以下12名の参加で3年ぶりに新年会を開催できました。藤代会長、飯生監督の挨拶のあと、山本副会長(H3卒)の乾杯で始まり、和気藹々の中で開催されました。先輩・後輩の関係はありますが、決して型苦しい会ではありませんので、是非とも若い世代の方の参加をお願いいたします。

なお、OB連合会主催のゴルフ大会・野球大会が開催されます。若い世代の方の参加が不可欠です。こちらとも若い世代の方のご参加をお願い致します。

○総会 5月27日(土) 18:00～ 於 京成ホテル・ミラマーレ今年度の総会はまだまだ「コロナ禍」が完全に収束したわけではありませんが、何とか藤代会長の他、12名の参加をいただき開催することができました。

例年通り、昨年度の事業報告・会計決算報告、今年度の事業案・予算案を新役員選出について承認していただきました。

懇親会

総会に引き続いて懇親会も18:30から久しぶりに開催されました。懇親会には飯生監督・中島部長、父母会から小林副会長・竹松副会長にもご出席いただき、OB会から藤代会長の他、13名が出席しました。

藤代会長・飯生監督・父母会副会長お二人の挨拶、関先輩(S37)の乾杯、歓談の中で安西副会長・中島部長、新理事に選出された古山さん(H24)荒井さん(H25)に挨拶をいただき、宮川名誉会長(S39)の締めのご挨拶まで楽しいひとときを過ごすことができました。

○第45回千葉県高校野球OB野球大会

今年度のOB野球大会1回戦は7月30日(日)千葉経済高校のグラウンド第1試合で千葉経済高校と対戦しました。千葉東の後攻で始まった試合は、先発の安西投手(H4)が簡単に2アウトを奪う上々の立ち上がりを見せましたが、その後失策が続き、8点を追う展開に。それでもその裏、先頭の荒井君(H25)からの連打で6点を返し、2回を終わって8-13と健闘しましたが結果は、8-36、OB野球特別ルール(2時間を超えて新しいイニングに入らない。)でコールド負けでした。

今回の参加者は、関先輩藤代会長以下15名が参加しましたが、平均年齢の若さに勝る千葉経済高校の前に、猛暑も手伝って次第に足が動かなくなり、熱中症直前のメンバーが続出し、最後はとうとう高橋(S51)まで出るはめになり、3球空振り三振でゲームセットとなってしまいました。

来年度は是非とも20代・30代の若い方を中心に、多くの方が参加して下さることを切にお願いいたします。

OB会の会員の皆様をはじめ、同窓生の皆様のご健康とご多幸、そしてますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

※文中の()内は卒業年
(文責：昭和51年卒・高橋敏行)



5/27 総会後の懇親会

＜千葉県県立学校チャレンジ応援基金＞

＜千葉県県立学校チャレンジ応援基金＞

千葉県では、魅力ある学校づくりや各学校における特色ある活動を推進するに当たり、地域住民や卒業生など、様々な方から応援いただくために、令和4年度に「千葉県県立学校チャレンジ応援基金」を創設しました。

学校名	連絡先	プランの名称	プランの概要及び目的	寄附 募集額 (万円)	募集期限
千葉東高等学校 〒263-0021 千葉市稲毛区轟町 1-18-52	電話番号 043-251-9221 ファックス番号 043-255-6575	主体的・協働的な 学習や探究活動を 推進する学習環境 整備プラン	【目的】学習活動の充実 【概要】多様なレイアウトに変更可能な協働学習室の整備、プロジェクター型電子黒板、生物顕微鏡の購入	350	令和8年3月

＜千葉県県立学校チャレンジ応援基金＞

1. 千葉県県立学校チャレンジ応援基金への寄附のお願い

県教育委員会では、県立学校が自主的・主体的に実施を希望する取組等を実現するため、地域の住民や卒業生など、様々な方々から応援を受けることができるよう、各学校への寄附金を募集し、その適正な管理を行うため「千葉県県立学校チャレンジ応援基金」を設置しました。皆様からの御寄附は各学校が策定した「教育活動充実プラン」に基づき活用してまいります。

どうか趣旨に御賛同いただき、御支援、御協力賜りますようお願い申し上げます。

2. 千葉県県立学校チャレンジ応援基金とは（基金の概要）

＜設置の趣旨＞

県民・企業などからの寄附金を活用し、県立学校における特色ある教育活動を推進すること

＜設置年月日＞

令和4年10月21日（千葉県県立学校チャレンジ応援基金）

＜基金の仕組み＞

個人・団体・企業の皆様からの御寄附を原資として基金に積み立てます。

＜活用＞

目標額を達成した時点で予算化し、各学校が策定した計画に基づき活用してまいります。

＜寄附者について＞

県では、学用品費や通学費等を負担している保護者に更なる負担を求めることがないように、以下に該当する者からの寄附については原則として、受け入れないこととしています。

県立学校在校生及びその保護者

P T A 及びそれに類する団体

※ただし、学校を指定しない寄附及び在籍校以外

の学校への寄附は受け入れさせていただきます。

＜寄附の種類＞

（寄附 A）特定の県立学校が策定した「プラン」に対する寄附

（寄附 B）特定の県立学校に対する寄附

（寄附 C）県立学校全体に対する寄附（特定のプランや学校を指定しない寄附）

※プランに対する寄附（寄附 A）を募集している県立学校で、募集金額に達しなかった場合、当該学校に対する寄附（寄附 B）を充当させていただきます。

※寄附が募集金額に達しなかった場合、プランの内容を変更することや、廃止する場合があります。この場合においても寄附をした学校に充当させていただきます。

3. 「千葉県県立学校教育活動充実プラン」を策定した県立学校一覧

＜振込方法＞

(1) 金融機関の窓口

郵送等又は千葉県電子申請サービスにより寄附申出書を受付後、千葉県教育庁財務課から納付書を送付しますので、お近くの金融機関（県内すべての銀行、信用金庫、信用組合、農業協同組合）の窓口でお振込みください。

(2) クレジットカードや電子マネー

「ふるさとチョイス」サイトを利用し、お振込みください。

具体的な決済方法については、各種決済方法詳細「ふるさとチョイス」外部サイトへのリンクを御覧ください。

4. 寄附申出書の配布場所

「教育活動充実プラン」を策定した県立学校一覧に掲載されている各学校でも寄附申出書を配布しておりますので、各学校までお問い合わせください。

進路指導について

2022(令和4)年度卒業生 進路概況 & 2023(令和5)年度入試 合格状況

※2023(令和5)年3月31日現在で集約したもの。

2023(令和5)年4月5日 進路指導部

1. 進路概況(実数)

卒業年度	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
卒業数	364	365	365	356	359	358	317	315
進学	260	280	254	273	273	290	264	266
内国公立大	106	96	101	104	91	120	98	108
私立大	151	183	149	166	179	167	165	155
準大学	1	1	2	1	1	0	0	1
短大	1	0	0	1	1	0	0	0
専門・各種	1	0	2	1	1	3	1	2
就職・公務員	0	0	1	0	2	0	0	1
その他	104	85	110	83	84	68	53	48
現役進路決定率	71%	77%	70%	77%	77%	81%	83%	85%
内文系	79%	81%	75%	80%	84%	89%	87%	90%
理系	65%	72%	65%	73%	69%	74%	80%	80%

2. 合格状況(延べ数)

入試年度	2016(H28)			2017(H29)			2018(H30)			2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			2023(R5)		
新卒・既卒・計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計
国公立大	117	58	175	106	56	162	109	33	142	112	47	159	108	33	141	132	24	156	104	32	136	116	17	133
私立大	748	328	1076	930	340	1270	677	248	925	768	347	1115	864	285	1149	1009	307	1316	1024	238	1262	1145	170	1315
準大学	5	2	7	3	3	6	5	1	6	3		3	1		1	5	1	6	4	1	5	2		2
短大	3		3			0			0	2		2	1		1	1	1	1	1		1			0
専門・各種	4		4	2	1	3	2		2	1		1	2		2	7	1	8	1		1	2	1	3
就職・公務員			0			0	1		1			0	2		2			0			0	1		1

3. 大学別合格状況(一部抜粋、延べ数)

入試年度	2016(H28)			2017(H29)			2018(H30)			2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			2023(R5)		
新卒・既卒・計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計
難関国立大	1		1	1	3	4	1	2	3	2		2	1		1	3	2	5		2	2	1		1
東京都大	1	1	2			0			0	1		1	1	1	3	2	1	3		2	2			0
北海道大	2	2	4	2	2	4	4	2	6	5	3	8	1	3	4	3		3	7		7	1		1
東北大	6	6	12	5	5	10	2	1	3	10	3	13	6	3	9	9	1	10	9	4	13	7	2	9
名古屋大	1	1	2	2	1	3	1		1	1		1			0	1		1	1		1			0
大阪大	1	4	5		3	3	2	2	4		2	2		1	1			0			0			0
九州大		2	2	1	1	2			0	1		1			0			0			0		1	1
東京工業大	4		4	4	5	9	3	2	5	3	2	5	2	1	3	4		4	5		5	5	1	6
一橋大	1		1	4	1	5			0	3		3	2		2	6	1	7	3	1	4	3		3
神戸大		2	2	1	1	2			0		1	1			0		1	1			0			0
大計	17	18	35	20	22	42	13	9	22	26	11	37	12	9	21	28	6	34	25	9	34	17	4	21
千葉大	45	17	62	48	13	61	45	10	55	43	10	53	56	8	64	67	8	75	41	6	47	60	8	68
筑波大	7		7	10	3	13	6	2	8	5	1	6	9		9	6		6	3	2	5	8	1	9
東京外国語大	4		4	3	1	4	1		1	2		2	4		4	3		3	5		5			0
お茶の水女子大	2	1	3	1		1	2		2	1	2	3	2	1	3	1	1	2	3		3	5		5
横浜国立大	3	1	4		6	6	4	1	5	3	2	5	3	2	5	3	1	4	5		5	2		2

入試年度	2016(H28)			2017(H29)			2018(H30)			2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			2023(R5)		
新卒・既卒・計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計
難関私立大	48	17	65	54	21	75	33	16	49	26	20	46	20	14	34	53	24	77	39	11	50	44	9	53
慶應義塾大	15	13	28	17	16	33	6	5	11	18	11	29	13	6	19	28	15	43	25	12	37	20	9	29
上智大	22	9	31	35	13	48	16	10	26	16	2	18	29	3	32	35	3	38	31	2	33	38	4	42
東京理科大	52	45	97	65	52	117	37	18	55	51	41	92	43	25	68	67	25	92	71	26	97	93	15	108
大計	137	84	221	171	102	273	92	49	141	111	74	185	105	48	153	183	67	250	166	51	217	195	37	232

入試年度	2016(H28)			2017(H29)			2018(H30)			2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			2023(R5)		
新卒・既卒・計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計
GMRCH 学習院大	16	4	20	28	3	31	7	1	8	15	4	19	18	2	20	12	8	20	22	1	23	27	2	29
明治大	67	39	106	90	17	107	68	21	89	65	24	89	70	29	99	97	27	124	119	20	139	100	26	126
青山学院大	30	3	33	29	6	35	13	3	16	23	4	27	24	8	32	25	5	30	29	2	31	28	2	30
立教大	40	15	55	59	10	69	58	13	71	44	16	60	58	10	68	63	8	71	67	7	74	83	4	87
中央大	31	17	48	26	18	44	24	9	33	26	29	55	34	11	45	61	8	69	42	14	56	63	9	72
法政大	58	27	85	91	27	118	53	19	72	71	27	98	58	24	82	65	28	93	80	16	96	116	9	125
計	242	105	347	323	81	404	223	66	289	244	104	348	262	84	346	323	84	407	359	60	419	417	52	469

江口杯ゴルフコンペ

昭和51年卒業生の有志で、我々の学年の担任でした江口憲治先生をお誘いし年3回開催している江口杯ゴルフコンペが今年も4月20日(木)と9月7日(木)はムーンレイクゴルフクラブ茂原コースで、11月9日(木)は千葉新日本ゴルフ倶楽部内房コースで行われました。

私は、そのうちの9月7日のコンペで優勝させていただきました安岡一昭です。この日は第40回の記念大会であり、10回毎の節目の優勝者は優勝カップが取りきりとなるので、朝から気合が入っていました。いつもはその気合が空回りとなることが多いのですが、今回はメンバーと天候とハンデにも恵まれてとても良い結果でした。一緒に回った峰嶋君、戸村さん、そして同窓会の小川先輩ありがとうございました。

私にとって、今回の優勝は2回目となりますが、同級生で回る気安さ、ミスショットをしてもそれを明るく笑いでやり過してくれる仲間たち、ナイスショットには皆で大きな拍手をして褒めあう雰囲気、本当に明るくて楽しいゴルフなので、いつまでもこの江口杯ゴルフコンペを大事にしていきたいと思います。

また今回が10回毎の節目に当たりましたので、

次回は新ペリで行いそのスコアをもとに新ハンデの見直しがあります。優勝をするとハンデが3割、2位は2割、3位は1割ハンデが減ってきているので、ハンデの少なくなった人には厳しい回が続いていたかもしれませんが、また優勝の機会が誰にも大きくなってきます。

今後ともよろしくお願いします。

(昭和51年卒 安岡一昭)



アパマンショップ
お部屋探しはおまかせ下さい!!
アパート・マンションのお部屋探しから賃貸管理、土地活用まで
不動産に関することを **トータルサポート!!**
聞きたいこと **千歳不動産情報ナビ**
高品質ハウジング 043-263-0886
043-262-0886

ギャレックスチバ株式会社
代表取締役 澤田繁信(昭46年卒)
千葉市中央区今井3-1-9
TEL 043-261-4528
FAX 043-265-5446
[mail] info@galaxchiba.jp
オリジナルマーキングは当社!!

JR京葉線 蘇我駅東口前
不動産のことならおまかせ!!
不動産の売買・仲介
賃貸借・総合管理
ご相談ください!!
おかげ様で
創業59年
堤 清司(昭和53年卒)
三幸商事株式会社
043-263-3535 043(265)4488
260-0842
千葉市中央区南町2-17-11
http://www.sanko-shouji.co.jp

<同窓会からのお知らせ>

・基金の支払の方法について【ゆうちょの振替口座 00160-8-148932】

コンビニで支払いができる振込用紙をセットしました。金額は固定(4,000円)になりますが、郵便局でもコンビニでも同窓会への寄付金の支払いができます。同窓会の維持の為に皆様のご協力をよろしくお願いします。固定金額以外は、郵貯の振込用紙に記入して振込をお願いします。

(同窓会活動維持基金 1口2,000円 創立100周年記念90周年記念事業基金1口2,000円)

<編集後記>

今回のシャロン花第27号は思いの他原稿が集まりました。毎回12ページで発行していたのですが今回は16ページでの発行という形になりました。これもひとえに同窓会の皆様のご協力と生徒の皆さんの努力のおかげだと思います。

バスケットのOB・OB会の皆さんも12月31日に経過報告を掲載してもらいたいと連絡がありました。他の部活の皆さんでも同窓会として活動があれば連絡をいただければ掲載します。

今後ともよろしくお願いします。

(編集委員)